



# みんな三重に なったら すっぴいんか

新しい三重をめざす  
取り組みエピソード



三重県から日本を元気に!!

## 「幸福実感日本一の三重」の 実現をめざします!

三重県では、平成24年度からのおおむね10年先を見据え、  
新しい三重づくりに必要な考えや目標を掲げた

**「みえ県民カビジョン」**を策定しました。

行政主導で地域を変える時代は終わりました。

これからは県民の皆さんと力を合わせながら、一人ひとりが  
幸福を実感できる新しい三重をともに創りあげていきたいと思ひます。

自分にできることをみんなが実践すれば、  
それが新しい三重をつくる力になります。

そのために必要なこととして**「みえ県民カビジョン」**では  
私たち一人ひとりが**「アクティブ・シチズン」**になる、  
さまざまな人たちと**「協創」**することを提案しています。

『**「アクティブ・シチズン」**って何?』『**「協創」**って何をすればいいの?』と思つた  
皆さんに、すでに県内各地で繰り広げられている**「アクティブ・シチズン」**  
の活動や**「協創」**の取り組みをステキなエピソードとともにお届けします!  
あなたも心が動いたらできることからはじめてみませんか?

CONTENTS

バリアフリー観光



アクティブ・シチズンは、  
新しい三重の原動力！

P.3～6

アクティブ・  
シチズンって何？

アクティブ・シチズンとは「自ら行動する県民」をあらわす言葉

協創って何？

いろいろな立場の人が力を合わせて新しいものを生み出すこと

「まごジェル」開発



「協創」が生みだす  
三重の新たな可能性！

P.7～10

- 「幸福実感日本一の三重」の実現に向けて  
大学生と知事との意見交換！ ……………P.11  
高校生に聞きました！ ……………P.12
- 三重がめざす 10 年後の姿  
～こんな三重になったらすごいやんか～ P.13～14



マクティグ・シチズンとは、  
新しい三重の原動力!



# 恋から始まることもある!? バリアフリー観光への 取り組み

NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターで  
現在、事務局長として活躍する野口あゆみさん。

伊勢志摩をバリアフリー観光地として成長させたきっかけは  
「好きな人」のために、「自分ができること」を行動に移したことからだった。

## 人生を変えた 車椅子の青年との出会い

地元タウン誌の編集者をしながら、夜は姉が営む飲食店を手伝っていた野口さん。ある日、そのお店で車イスの青年に出会ったことから、この物語は始まりました。

障がいがあるにも関わらず、車イスを自在に操り、明るく楽しそうに話をする青年（めっちゃ男前!!）。彼は、これまで野口さんの持っていた「障がい者＝暗い」というイメージを覆し、「奇跡の出会い!」と言わしめたのでした。これが恋のはじまりでした。

## バリアフリーより お店の雰囲気優先？ 世紀の大発見!

そんな彼と話をするうちに、「障がい者だからバリアフリーのお店に行きたいと思うのは大間違い。障がい者だって、美味しくて雰囲気の良いお店にいきたい!」という言葉聞いた野口さんは、新鮮な感覚と驚きを覚えました。そして早速、行動を開始し、「美味しくて、バリアフリーのお店を紹介するから!」と彼をデートに誘ったのです。



伊勢志摩バリアフリーツアーセンター内にてお客様とのやりとりの様子



伊勢志摩バリアフリーツアーセンタースタッフのみなさん

## 現実に直面！ 心に刻みつけられたこと

迎えたデート当日、介助してポイントアップと思っていた彼女は、自分で車を運転し、自由自在に車イスを操る彼にまたまたびっくり!「車イスだから介助が必要」という常識も覆されたのでした。

しかし、レストランに到着したとたん、厳しい現実が待っていました。行く店、行く店、わずかな段差や階段、狭い入り口などが、二人を拒んだのです。「たった一つのバリアのせいで、自由を失ってしまう」彼女の心に刻みつけられた現実でした。

## 仲間の後押しにより アイデアが実現!

しかし、恋する乙女は強い。「彼のために自分ができることって何だろう? そうだ、遊びに行きたい車イス利用者のためのガイドブックを自分たちで作ろう!」。思いを行動に移すため、このアイデアを編集者仲間に相談。仲間の後押しもあり、彼の車イスの友人にも声をかけるなど、共感



### 恋に導かれた 観光再生

恋心から生まれた  
バリアフリー観光。  
いくつもの奇跡を呼んだ  
野口さんと車イスの青年の  
物語をご紹介します!  
伊勢志摩バリアフリースター  
センター誕生の  
ヒミツも載っています。

発行所：長崎出版株式会社

調査の様子  
細かい場所まで  
チェック!



を得たメンバー 10 人程度で構想を練りはじめました。

伊勢志摩地域の飲食店を巡り、入り口の段差やテーブルの高さ、従業員の対応などを細かくチェックし、車イスでも安心して食事ができる店を絞り込みました。そして、ついに車イス利用者のためのガイドブック「おでかけ!チェアウォーカー」が完成。こうして一つの恋から、大きな成果が生まれたのです。

## 「自分にできること」が 人と地域を変えていく

これらの活動がきっかけとなり、「NPO 法人伊勢志摩バリアフリースター」がつくられました。現在、野口さんたちは障がい者の数だけ障がいの種類が





浜辺で利用できる「海の車イス」  
障がい者や高齢者一人ひとりの  
“したい”ことを可能にしています！



あるという考えから、お客様一人ひとりのパーソナルバリアフリー基準で、旅のアドバイスや情報発信に取り組んでいます。

活動は伊勢志摩だけに止まらず、県内各地、そこから全国へと広がり、2011年に「日本バリアフリー観光推進機構」が発足。今では全国14か所の相談センターで、同一水準のサービスが受けられるまでに広がっています。

きっかけは「好きな人のため」という小さなことでも、自ら行動する「アクティブ・シチズン」になることが、人や地域の未来を拓ききっかけとなります。まずは何か心が動いたら、自分にできることから始めてみましょう。

(そうそう恋の結末ですが、見事ゴールイン！  
アクティブ・シチズンおそるべし！)

伊勢志摩 **バリアフリーツアーセンター**



NPO法人 伊勢志摩  
バリアフリーツアーセンターに  
関するお問い合わせはこちらまで

三重県鳥羽市鳥羽一丁目 2383-13  
鳥羽一番街1階(鳥羽駅直結)  
TEL : 0599-21-0550  
URL : <http://www.barifuri.com>

Q どんないせ県に  
なってほしいですか？

NPO法人 伊勢志摩  
バリアフリーツアーセンター  
事務局長 野口あゆみさん



「協創」が生まれます  
三重の新たな可能性!



企業と高校生が  
コラボ?

# 世界ブランドに勝ちたい 高校生 × 企業 × 地域による 「まごジェル」開発!

高校生レストランで一躍有名になった相可高校では、  
新たな取り組みがはじまっている。  
生産経済科の生徒が地元企業の協力を得て「まごころ tea ハンドジェル」  
を商品開発コンセプトから、ネーミング、パッケージデザイン  
配合成分まで、すべてに関わり商品化!  
高校生が周りの大人たちを本気にさせ、  
実現させた取り組みが、さらなる可能性を広げている。





県立相可高等学校  
三重県多気町  
万協製薬(株)  
共同開発商品

### まごころ tea ハンドジェル

なめらかな肌触りと  
保湿成分がお肌を保護し  
水分を保ちます。



## 食物調理科に負けるな！ 活躍の場を与えられた 生産経済科の生徒たち

高校生が料理から接客、仕入れなど運営のすべてを行うレストランとして、行列のできる人気店となった「まごの店」を切り盛りする相可高校の食物調理科の生徒たち。一方、同じ高校でも農業を中心に学ぶ生産経済科の生徒たちは、注目をあびるような活躍の場は多くありませんでした。

そんな時、地元の多気町役場では、生産経済科の生徒たちにも「社会で活躍できる場を」と、生徒自らが市場調査から企画・生産・販売まで行う“生きた経営”を体験させる商品開発プロジェクトを企画。この取り組みに賛同した町内企業の万協製薬株式会社が全面的支援を行うこととなり、多気町の特産品を使ったハンドジェルの開発がスタートしたのです。





万協製薬(株)と商品開発の打ち合わせをする生産経済科の生徒たち



何度も試作を繰り返し、開発に取り組む生徒たち

## 大人たちを本気にさせた 高校生たちの思い！

最初は「この子たちで大丈夫だろうか」と周りの大人たちは不安でした。しかし、協力企業が用意した試作品を全否定し、「自分たちがつくる商品だから、自分たちが使えるものにしたい」と主張。「これに勝つ商品を作って賞を取りたい」とカバンから世界ブランドのハンドジェルを取り出してきたのでした。

「だったら本気でやるぞ」と、この生徒たちの姿に刺激を受けた開発のプロたちは、通常であれば2か月で完成するところを約半年費やし、生徒と一緒に試行錯誤を繰り返しながら、多気町特産の伊勢茶エキスをベースに、柿葉エキス、春光柑(みかんの品種)の香りを加えた商品を開発。こうして高校生がプロデュースした「まごころ tea ハンドジェル」、略して「まごジェル」が完成しました。

## 引き継がれる活動、 広がる「協創」の力

「まごジェル」完成後、生徒たちによる首都圏へのセールスプロモーションなどにより全国販売へと発展、また新たに台湾でも販売されることとなりました。これらの活動は、在校生にも引き継がれ、新商品開発など次の展開へつながっています。販売によって得た利益は、生産経済科の生徒が立ち上げた「NPO法人植える美ing(ウエルビーイング)」に寄付され、園芸をとおして地域に貢献する活動に役立てられています。

これらの成果は高校生の努力だけでなく、その考えを面白い、楽しいと感じた先輩や地域の大人たちの支えもあって、

## 共同開発商品

次々に新たな展開が生まれています!!

### 第2弾 まごころ tea リップ

さらっとした使い心地の  
リップクリーム  
万協製薬(株)監修  
(株)近江兄弟社製造・販売



### 第3弾 ゆず香る まごころ honey クリーム

なめらかな肌触りの  
保湿クリーム  
万協製薬(株)製造・販売



### 第4弾 まごころ SP ミルク

長時間ガードの  
日焼け止めクリーム  
万協製薬(株)監修  
(株)近江兄弟社製造・販売



### 第5弾 まごころ BB ミルク

ファンデーションいらずの  
日焼け止めクリーム  
万協製薬(株)監修  
(株)近江兄弟社製造・販売

商品に関するお問い合わせは  
万協製薬株式会社まで  
TEL : 0598-37-2088  
URL : <http://www.bankyo.com>

「協創」の取り組み



首都圏でのセールス  
プロモーション活動

実現できたともいえます。異なる業種や  
団体がパートナーとして力を合わせ、そ  
の結果から新しい価値観や成果を生み  
出す「協創」。その活動は、人や地域を  
盛り上げていく大きな力になっているの  
です。

## Q どんな三重県になってほしいですか？

万協製薬株式会社  
代表取締役社長  
松浦信男さん

三重県立  
相可高等学校  
生産経済科  
NPO 法人  
植える美 ing  
理事  
鈴木愛香さん

三重県立  
相可高等学校  
生産経済科  
NPO 法人  
植える美 ing  
代表監事  
峯川咲希さん

三重県の社長  
元気出せ!

三重の農産物を  
世界に  
届けたい♡

Well-being  
植える美 ing



# 「幸福実感日本一の

## 大学生と知事との意見交換!

「みえ県民カビジョン」をつくる過程において、若い世代の人たちに地域活動の担い手として一層活躍していただくことを目的に、大学生と知事との意見交換会を実施しました。

ここでは、「こんな三重になったらすごいやんか!」をテーマに、県内の大学生が語った、リアルな思いをご紹介します。

### Q 自分の活動の中で、将来不安に思うことはありますか？

- ・商店街の空洞化や地方の少子高齢化。地域のつながりや伝統や祭といった文化がなくなってしまうそう。(皇學館大・男性)
- ・三重県は車がないと生活に困ること。(三重大・男性)
- ・献血活動を一般の方に広める機会が少ない。県単位で協力を呼びかける組織が必要。(県立看護大・女性)



### Q あなたは、どんな時に幸せを感じますか？

- ・自分が誰かの役に立ったとき、周りの人が幸せになったとき。(高田短大・女性)
- ・誰かに支えてもらったとき。  
今度は支える側になりたいと感じた。(高田短大・男性)
- ・将来、この道に進みたいということが明確になったとき。  
(皇學館大・女性)
- ・絆やつながりの強さを感じたとき。(鈴鹿医療科学大・男性)



### Q 将来の夢は何ですか？また、どんな自分になりたいですか？

- ・自分だけでなく、周りの子どもや若い人も良くなるようなことをやりたい。(鈴鹿国際大・女性)
- ・周りの人にとってプラスの存在になりたい。(鈴鹿国際大・女性)
- ・小さい子どもたちがものづくりに興味を持てるようなおもちゃを製造したい。(近大高専・男性)
- ・障がい者にやさしい車、震災のときでも安全な車の開発がしたい。(近大高専・男性)
- ・地元で最初の女性放射線技師になりたい。(鈴鹿医療科学大・女性)



#### 知事の コメント

いつまでに何をするという目標を持つことが大切です。また、価値観の異なる人と交流する機会をたくさん持って、多くのことを得てほしいですね。

# 三重」の実現に向けて

## 高校生に聞きました!

Q あなたの夢の実現には何が必要ですか？

※県内の県立学校、私立学校に在学する高校2年生（80校 2,419人）を対象にしたアンケート（2011年6月～7月実施）結果より

夢を実現するプロセスを大事にすること

あきらめないこと、  
叶うまで努力、  
夢を見つづけること

現実をきちんと受け止めつつ、  
自分から考えて夢に向かって  
行動する力

自分の限界を  
作らない!  
何事もあきらめない!

周りの人の支え、  
自分のやる気

周りのみんなと  
助け合って生きていく力

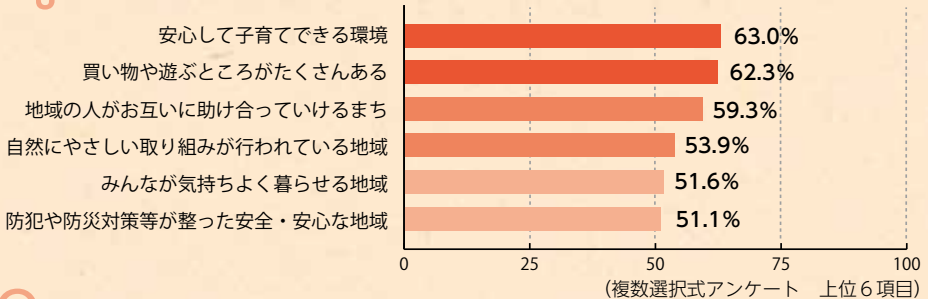
自分が率先して  
行動すること

人とのコミュニケーション  
をうまくとれるように  
なること

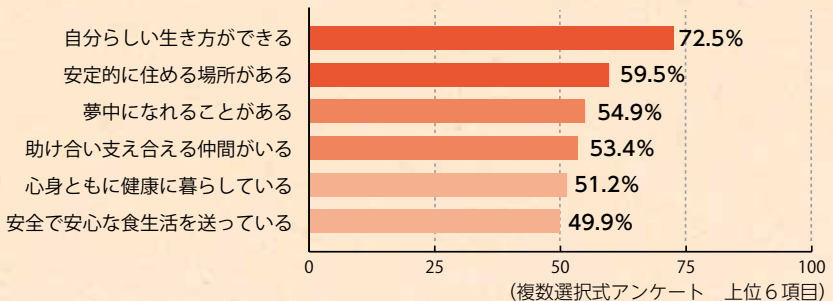
本人のやる気を  
バックアップしてくれる  
モノやヒトのサポート

三重県全体が  
豊かな町になって  
いけばいいと思う!

Q 将来、自分の住んでいる地域がどうなっていてほしいですか？



Q あなたにとっての豊かな暮らしとは何ですか？



# 三重がめざ

～こんな三重に～

三重には、たくさんの地域資源  
があります。

これらの資源を最大限に活かしながら、まだ眠って  
いる地域の魅力や価値も発掘していくことが大切です。

皆さんからの「**こんな三重になったらすごいやんか**」という声  
を実現するためにも、この冊子で紹介したようないきいきと輝く  
「**アクティブ・シチズン**」や三重の新たな可能性を生み出す「**協創**」  
の取り組みがもっともっと広がってほしいと思います。

そうすることで、自分たちの暮らす三重は日本一だとみんなが  
胸を張ることができるようにしていきましょう！

最後に、新しい三重づくりを進めるために、一歩先、二歩先  
を見据えて、県民の皆さんと一緒に取り組んでいきたい「新しい  
豊かさプロジェクト」を紹介します。

皆さんも新しい三重づくりに参加してください。





# す 10 年後の姿

なったらすごいやんか～

## 新しい豊かさ協創プロジェクト

- 1 未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト
- 2 夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト
- 3 スマートライフ推進協創プロジェクト
- 4 世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト
- 5 県民力を高める絆づくり協創プロジェクト



「みえ県民カビジョン」の詳細は、県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/VISION/index.htm>

### すべての県民の皆さんへ

地域や誰かのために、あなたができることは何ですか？

私たち一人ひとりが、自立し行動できる

「アクティブ・シチズン」になり、

また、たくさんの人たちと「協創」することで、

「新しい三重」が創っていただけるのです！

まずは「自分にできること」から始めてみましょう！

その行動は、あなたや大切な人の幸福にきっとつながります。

三重県知事 鈴木 英敬





*みんなの力で 幸福を感じる未来をつくらう!*

**三重県戦略企画部企画課**

〒514-8570  
三重県津市広明町 13 番地

TEL 059-224-2025  
FAX 059-224-2069  
E-mail kikakuk@pref.mie.jp

